令和３年度　福島県立坂下高等学校　学校経営・運営ビジョン

福島県立坂下高等学校

教　育　目　標

人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた、心身ともに健康な人間を育成する。

校　訓

学修　高い学問と自己の向上に励む心構えを身につける。

礼節　有為な社会人としての礼儀と良識を身につける。

鍛練　心身の修練に努め、困難に耐える力と誇りを身につける。

「活力ある地域づくりに貢献できる人材を育成します」

校長　松尾 幸生

＜目指す生徒像＞
○坂下高校生としての誇りと自信を持ち、卒業後は活力ある地域づくりに貢献できる生徒
＜生徒に身につけさせたい資質・能力＞
○社会性と生きぬく力
○地域を支える意欲と力
○活力ある地域づくりに貢献する意欲と力
＜目指す学校像＞
○生徒が日々充実した学校生活を送り、「今日も学校に来て良かった」と思える学校
○生徒を大切にし、生徒一人ひとりに対応した丁寧な指導を実践する学校
○少人数授業・習熟度別授業やアクティブ・ラーニング型授業など、個に応じた学習指導を実践する学校
○地域の理解・研究・課題解決等に取り組む探究活動や地域と連携した教育活動を実践する学校
○いじめ・事故のない、安全・安心で充実した高校生活が送れる学校
○生徒の進路希望が実現できる学校
○教職員が健康で、前向きに力を発揮している学校
○生徒・保護者・地域の信頼と期待に応えられる学校

具体的な実践・取り組み

教育目標の実現

教職員の組織力の強化

１　確かな学力の向上

①　課題の工夫や定期的な学習実態調査を行い、学習習慣の定着を図ります。
②　授業の約束事を励行させ、全職員連携して、授業への積極的参加を促します。
③　生徒の実態に即した到達目標の設定と学習内容の精選に努め、個々のレベルアップを図ります。
④　朝のＳＨＲ前の「振り返り学習」と「朝の読書」で、基礎学力の向上と読書習慣の定着を図ります。
⑤　指導方法や教育相談に係る校内研修を行い、教員の資質向上に努めます。
⑥　添削指導などの個別指導の充実に努め、上級学校にも進学できる確かな学力を有する生徒の増加を図ります。

数値目標：　進級　１００％、卒業　１００％

２　基本的生活習慣の確立

①　毎日の「登校指導」や定期的に実施する「頭髪・服装指導」と「制服着こなしセミナー」等を通して、高校生にふさわしい身だしなみを指導します。
②　スクールタイム中の学習活動以外での携帯電話使用禁止等の校内ルール、交通マナーや列車乗車マナー指導等により、法令遵守の姿勢を身につけさせます。
③　部活動やボランティア活動を奨励し、主体的に活動できる生徒を増やします。
④　学校行事や生徒会活動の充実を図り、生徒が活躍できる場面を増やすことで自信や責任感を醸成します。
⑤　スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと連携し、生徒や保護者の不安解消や問題解決の支援に努めます。

数値目標：　生徒事故　ゼロ

３　進路指導の充実

①　進路講演会や学年ごとの進路ガイダンス・職業講話を通し、進路意識の深化に繋がるキャリア教育を推進します。
②　授業をはじめ、長期休業中の課外や週末課題等と個人添削指導により、各種受験に対応できる学力を育成します。
③　定期的に外部模試を行うことによって学力の把握に努め、事後の指導に生かします。
④　個々の生徒に対応した計画的で丁寧な進路指導と、面接や作文・小論文指導によって指導の強化を図ります。
⑤　各種資格・検定試験の受験を奨励し、資格取得人数の増加を目指します。

数値目標：　進路決定　１００％

４　情報発信と地域からの信頼

①　保護者との連携を深め、地域の方々にも本校の魅力をアピールするために、学校のホームページや各種の印刷物による情報発信に努めます。
②　生徒や保護者、学校評議員による評価を行い、ＰＤＣＡ組織マネジメントを機能させます。
③　保護者や地域の方々に本校の教育活動を理解していただくために、ＰＴＡ総会や学年ＰＴＡ、公開授業、講演会等を開催します。
④　生徒や保護者、地域の方々の期待と信頼に応えるため、本校教職員の不祥事を根絶します。
⑤　統合新設校の魅力化へ向けて尽力します。

数値目標：　職員不祥事　ゼロ